

# 2014年度 活動報告書



一般財団法人

**カンボジア地雷撤去キャンペーン**

Cambodia Mines-remove Campaign

# 一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン Cambodia Mines-remove Campaign

## 2014年度 活動報告 目次 — 2014年4月1日～2015年3月31日 —

### 現地活動

---

- 地雷撤去支援
  - ・MAG
  - ・CSHD
- 地雷原での教育支援
  - ・CMCコーントライ夢中学校
  - ・CMCポップイ安倍小学校
  - ・CMCTウールポンローみおつくし中学校
- 地雷危険回避教育
- スタディーツアー
  - ・NGO駐在員と行くカンボジアツアー
  - ・Think&Act スタディーツアー
  - ・第19次カンボジアスタディーツアー2015
- パソコン訓練事業

### 国内活動

---

- 講演・国際理解授業
- 書き損じハガキ回収プロジェクト
- イベント
- ソピアップ来日

# 地雷撤去支援



CMCは、1998年設立当初から継続して、地雷撤去団体への資金援助を行っている。2015年度は、19次スタディツアーで地雷原を訪問し、命がけで地雷撤去活動を行っているMAGとCSHDへ支援金を手渡した。

## MAG

### Mines Advisory Group

イギリスが運営するNGOで1989年より活動を開始し、カンボジアの他約40ヶ国以上で活動を展開している。

ディマイナー（撤去隊員）には、子どもを育てるためディマイナーになった母親や地雷で足を失った被害者も多い。



訪問地雷原は、カンボジアのタイ国境沿いパイリン地区のグラハム村。近隣で、1名が死亡、18名が負傷、現在8種類の対人地雷と17の不発弾を処理するも、1/4のエリアしか進捗していない。

## CSHD

### Cambodian Self Help Demining

内戦時、10歳から少年兵として戦いに巻き込まれてきたアキラ氏が代表を務める地雷撤去団体。アキラ氏がこれまでに撤去した地雷の数は5万個以上。戦争の悲惨さを伝えるため、地雷博物館も運営している。



バタンバン州にある小学校から直線距離で600mの場所にある地雷原を視察。ソ連製対人地雷PMNⅡが見つかり その場で爆破処理。子供たちの日常に潜む地雷の危険性を改めて感じた。

# 地雷原での教育支援

## ■CMCコートライ夢中学校

(2008年落成／協力:佐世保青年会議所)



第4期卒業生



卒業証書授与

中学校建設後も毎年訪問頂いている佐世保青年会議所のみなさんが、今年度も4月、9月と訪問して頂いた。今回は、図書室用の本やサッカーボールやホワイトボードのご支援を頂き、子どもたちと交流された。9月には、毎年恒例の卒業式も行われ、卒業生に証書が授与された。

## ■CMCポップイ安倍小学校

(2004年落成／協力:入水寺 故安倍量基住職)



炊き出しに挑戦



歯磨き指導



ダンス披露

2015年2月19次スタディツアーで、CMCが建設したポップイ小学校を訪問。歯科医師さんによる歯科診断や歯磨きの指導を行って頂いた。

また、夏のツアーではThink&Actの皆様がCMC初となるやきそばの炊き出しを一生懸命に行ってください、現地の人たちとの共同作業を楽しんだ。

## ■CMCトゥールポンローみおつくし中学校

(2010年落成／協力:大阪西ワイズメンズクラブ (株)データ・マックス)



奨学生の2人



卒業式



トゥールポンローみおつくし中学校では、今年23名の生徒が卒業した。

在校生の成績優秀者タエム君(2年生)とミエンさん(1年生)の2人に対し、奨学金を付与することを(株)データマックス了承のもと決定した。

# MRE 地雷危険回避教育

～子供たちの地雷被害をゼロにするために～



地雷被害者の講師

昨年に続き、地雷危険回避教育を行った。今年には地雷被害の深刻さをより現実的に理解してもらうため、地雷被害者の方々に登壇して頂いた。

講師を招くことで、子供たちに危険性を十分に理解してもらえ工夫をした。講師が被害者であったため、地雷の深刻さを理解するだけでなく、地雷被害者に対しての、根深い偏見が幾分和らぐ形になった。

地雷被害者は爆発したら手足を失うというだけでなく、心にも深く傷を負う。今回の方法ではそれらを包括的に解決する手段として最適である。

表1 MREを実施した学校の数と生徒数

州	群・特別市	小学校	中学校	合計
バタンバン	コックロー郡	11校, 906人	3校, 243人	14校, 1149人
	バナナ郡	9校, 1211人	1校, 64人	10校, 1275人
	コムリエン郡	9校, 986人	1校, 153人	10校, 1139人
	ラタックモンドル郡	6校, 813人	2校, 259人	8校, 1072人
	ソムロート郡	4校, 426人	1校, 110人	5校, 536人
	モーナルセイ郡	4校, 637人	1校, 177人	5校, 814人
	バベル郡	3校, 492人	1校, 150人	4校, 642人
	プノムブルック郡	4校, 887人		4校, 887人
	ルカキリ郡	3校, 486人		3校, 486人
パイリン	サラークラウ郡	9校, 1139人	1校, 150人	10校, 1289人
	パイリン特別市	4校, 489人		4校, 489人
	合計	66校, 8472人	11校, 1306人	77校, 9778人

当初の予想では6000人に対して指導できればと考えていたが、ふたを開けると9778人と予想を4000人近く上回る児童・生徒を指導することが出来た。

地雷に出会った時の対処法のテストをすると、90%を超える正しい対処法を答えたため、一定の効果があつたことは事実である。

## 成果

右の写真では、指導した児童が地雷を帰路で見つけ、触らずに知らせてくれた。草むらの中であるため、ビニール袋を吊るし、目印もつけてくれていた。着実に効果が出ていることが理解できる。





子どもと一緒に地雷処理を実演



現地CMCスタッフ



DVDを使用しての学習



ポスターを使用しての講義

表2 地雷被害者数 国、州別

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
カンボジア	630	411	340	272	229	285	223	147	133	121	27
バタンバン州	249	110	82	87	78	73	68	34	16	40	14
パイリン州	103	42	23	24	18	31	15	4	5	22	2

### 課題と今後の展望

MREを行って、実際に地雷を見つけた児童が適切な処置を行った例もあるなど、一定の成果を得たと考えられる。しかしながら、上の表からわかる通り地雷被害者数は年々減少傾向にあるが、MREを実施した2年では増加傾向にある。この増加傾向に歯止めをかけるべく、今後はさらに多くの人を対象としたラジオ放送のVoice of Heartなどを活用し、目に見える成果を出していきたい。

# NGO駐在員と行く！夏休みカンボジアツアー

## 2014①～③

- ①（8月10日～8月14日）参加者9名
- ②（8月17日～8月21日）参加者11名
- ③（8月24日～8月28日）参加者9名

訪問場所：アキラ地雷博物館、キリングフィールド、鬼一二三日本語教室、  
義足リハビリセンター、トゥールポンロー中学校、トレンサップ湖、  
孤児院、アンコールワット遺跡群、他



一般家庭を訪問



ハンモックを体験



日本語教室に参加

昨年度の3月に行われたスタディーツアーとほぼ同じ内容でしたが、今回新たな企画として、田舎の家を訪問して、昼食作りをする「カンボジア生活体験」を実施した。訪れた各家庭でカンボジアの生活様式の一部垣間見ることができた。



料理体験



マーケットへ



地雷博物館にて



アンコールワット観光

# Think&Actスタディーツアー

日頃からCMCにボランティアして頂く西南学院大学のThink&Act21名の方々が、ツアーに参加されました。一般からは5名参加され、計26名の大人数となりました。



ポップイ小学校にて初の炊き出し



歓迎セレモニー



プレゼント交換

9月6日～9月14日まで8日間の行き先：  
トンレサップ湖、アキラ地雷博物館、義足リハビリセンター、ポップイ小学校、  
プノン・ソムパウ、トゥールポンロー中学校、アンコールワット遺跡群、  
村の家々にて料理体験、他



ポップイ小学校の皆と共に



授業を体験



荷物が空港に届かなかったり、だまされたりしました。その他には、インフルエンザで空港と病院を往復するのみに終わった人など人数が多ければトラブルも多かったです。しかし、それも旅の醍醐味。

今回のツアーで、ボランティアしているCMCが現地でどのように行っているか、視察することができたと思います。

これからも深い関係を築いていくことは大切だと感じました。(学生レポートより)



# CMC主催 第19次カンボジアスタディツアー2015

2月22日～3月3日までCMC主催のスタディツアーを開催。5名の方が参加。

訪問場所：トゥールスレーン収容所、MAG・アキラ地雷原、アキラ地雷博物館、第5軍病院、ポップイ安倍小学校、コートライ夢中学校、トゥールポンローみおつくし中学校、CMC事務所、キリングケージ、義足リハビリセンター、鬼一三日本語教室、アンコールワット、他



CSHDの地雷原



MAG地雷原を視察



CSHDへのドネーション



アジアHONDAよりバイク贈呈



曾田駐在員より引き継いだ堀内駐在員



コートライ中にて歯磨き指導



ひまわりの泉にペイント



トゥールスレーン収容所にて



トゥールポンロー中 奨学生発表

# パソコン訓練事業

CMCでは、地雷被害者が最も必要な「就業」を支援するため、プノンペン日系企業「カンボジア大六」協力のもと、手足がなくてもできるパソコン訓練事業をスタートした。



二期生のケ・ウクとヒン・ヴィチャットはCambodia Dairoku Inc.さんの元で修業を行い、一人前になるほどに上達している。



ダイロク 廣田社長



切抜作業の学習

カンボジアでは多くの方が農業で収入を得ている。しかし、手足を失った地雷被害者は肉体労働である農業に従事することが難しいため、働くことが出来ず、被害者家族の多くは厳しい生活を強いられている。世界各国のNGOが地雷被害者支援のための病院や義足リハビリセンターを運営しているが、農業で働けなくなった被害者の収入向上につながる支援はほとんどなされていない。今後このような事業が地雷被害者を救う手本となるようにしていかなければならないと強く感じる。(インターン生より)



協力しながらの作業



パソコンの組み立て作業



# 講演活動、国際理解授業

## 2014年度 講演一覧

5月14日 大阪そねぎロータリークラブ  
5月17日 松九会佐賀地区総会  
6月 2日 福岡工業大学  
6月11日 西南学院大学  
7月 5日 九州大学  
7月 9日 大阪市立瓜破西中学校  
7月11日 かめのり財団  
7月20日 ピースプロジェクト  
8月26日 香椎第一中学校  
9月 4日 福岡市立小笹小学校

9月 5日 福岡市立西高宮小学校  
9月10日 福岡市立日佐中学校  
9月13日 追手門学院高校  
10月18日 福岡県社会教育総合センター  
10月27日 中経教40周年記念講演  
11月 1日 福岡市立宮竹中学校  
11月 8日 福岡県立修猷館高校  
11月19日 千代田区役所  
11月20日 長浜市立長浜北小学校  
11月25日 ひまわり会

11月29日 粕屋町立粕谷西小学校  
12月 8日 福岡市立西新小学校  
12月 8日 伊丹市立萩野小学校  
12月17日 佐賀大学  
2月18日 福岡市立玄洋高校  
2月20日 飯塚市立庄内中学校  
3月29日 能古島青少年育成委員会

## 世界にも目を向ける地球人としての視点を

CMCでは小学校から大学、行政・諸団体等へ、平和・人権・国際協力などに関する講演や授業の講師派遣も行っています。日本ではニュースにならない地雷被害の現状や、地雷模型を使った説明を取り入れた授業を展開します。

実際に現地で活動している国際NGOだからこそ、現地の状況や本当に必要な支援とは何かを伝えることができます。

また、日本各地にボランティアで関わっているCMCメンバーがおりますので、全国各地で講演を行っています。



修猷館高校にて大谷理事長講演



飯塚市立庄内中学校にて  
地雷被害者スロス氏講演



大阪そねぎロータリークラブ例会にて  
CMC大阪事務局責任者森本氏講演



能古島にて事務局樋渡氏の  
レクチャー



松九会佐賀地区総会にて  
CMC評議員樋口氏講演



大阪市立瓜破西中学校にて  
CMC名古屋地区担当 山田氏講演



# 2014年度 書き損じハガキ回収キャンペーン ご報告

2014年4月1日～2015年3月31日

【回収結果(2015/3/31時点)】 ご支援者 学校/団体様：**193** 個人様：**566**

ハガキ

3700346円

91,740枚分

切手

1,058,478円

テレカ

266,880円

1,063枚分

総額 **5,025,704円**

ご支援頂いた皆様誠にありがとうございました。  
頂いた支援金の寄付先を報告いたします。

【寄付先】 (2015年2月スタディツアーにて)

寄付額：**600,000円 (\$5,000)**

1\$ : 120円換算

## ➤MAG (Mines Advisory Group)

イギリスが運営するNGOで1989年より活動を開始し、カンボジアの他約40ヶ国以上で活動を展開している。



## ➤CSHD (Cambodian Self Help Demining)

寄付額：**360,000円 (\$3,000)**

幼い頃、少年兵として戦い自らも地雷を埋めた経験を持つアキラ氏が代表を務める地雷撤去団体。アキラ氏がこれまでに撤去した地雷の数は5万個以上。撤去した地雷などは多くの人に知ってもらう為にカンボジア地雷博物館に展示されている。



## 支援金は、CMCの現地活動にも役立っています

CMCは現地に事務所を置き、今どのような支援が必要かを考え様々なプロジェクトを実施しています。

### 被害者の就業支援



地雷/不発弾などにより手足を負傷した人々が農業以外で安定した収入を得る事が出来る様、パソコン訓練による雇用創出を行っています。

### 地雷危険回避教育



地雷/不発弾の事故を防ぐため、地雷撤去団体に研修を受けたスタッフが地雷原の子供たちに地雷を発見した場合の対処法などの危険回避教育を行っています。

### ラジオ番組の制作・放送



地雷被害者のメンタルケアを目的とし、被害者の心の声を紹介。被害状況や被害に合わないための注意喚起、就業支援などの情報提供なども行っています。

### 学校の運営



CMCポップイ安倍小学校  
(2004/7月落成)



CMCトゥールポンロー  
みおつくし中学校  
(2010/12月落成)



CMCコントライ夢中学校  
(2008/9月落成)

学校や団体様からは、**193** の団体が、個人では**566**名もの方からご支援を頂きました。



白河市立白河第二中学校を東北事務局、  
十文字監事が訪問

# イベント



4月12日 クメール正月

2014年度も多くのイベントへ参加し、CMCの知名度や認知度を高めることが出来た。  
唐津や街頭募金では多くのボランティアの方々にご参加頂き、  
CMCは数多くの人々に支えられていることを再認識した。

## 【参加イベント一覧】

8月30日、31日  
大阪「ピースフェスティバル2014」  
10月5日、  
「ハートフルフェスタ」  
10月18日、19日  
「よこはま国際フェスタ2014」  
10月26日、  
「春日いきいきフェスタ2014」  
11月29日  
「福岡できるマーケット」



5月18日 唐津チャリティーフェスティバル

## 【チャリティー野球】

福岡ソフトバンクホークスマーケティング（株）のご協力の下、チケット1枚に付き、500円がCMCへの寄付になるチャリティ試合を実施。



## 【街頭募金活動】

ひまわり会の皆様を中心に、小学生から学生、社会人までが集結し、街頭募金を行った。  
「100円で1㎡の地雷原が撤去できる」ことを訴えた。



ひまわり会と共に街頭募金

# 地雷被害者 ソピアップ国際理解授業

9月26日から10月6日まで滞在

昨年に引き続き来日したソピアップは、10日間に渡り福岡県の小中高、大学及び団体などで講演をされた。幼少期のエピソードを語る際、感極まり時には涙してしまう事もあった。はじめて、地雷被害者を目にした子どもたちは、驚いていたと思うが、彼女の真っ直ぐな瞳で語る話に耳を傾けて下さった。中には、涙する人もおり、来日の意味が深いものとなったと感じる。



テレビにも出演



九州国際大学で講演



福岡女子大学にて座談会

## 【ソピアップのプロフィール】

6歳で地雷被害に遭い、片足を失う。  
18歳の時、ミス・ランドメインに選ばれた。当時はバタンバン大学に通う女子大学生。  
将来の夢はNGO会計士。

## 来日の目的

メディアに多数出演されたり、対話形式での講演をされ、彼女の経験をより鮮明に伝えて頂いた。  
また、スポーツでの交流も行った今回の来日では、普段は国際協力に興味のない方も理解を示してくれた。  
様々な方法で地雷被害の深刻さを日本の多くの方に知って頂けたと思った。

## 【講演先】

9月29日 粕屋町粕谷西小学校  
9月29日 九州産業大学  
9月29日 福岡女子大学  
9月30日 筑紫女学園大学  
10月1日 九州国際大学  
10月2日 玄海町立値賀中学校  
10月2日 株式会社カムラック  
10月3日 西南学院大学  
10月3日 志免町立志免西小学校  
10月3日 ふくおか緑の党  
10月4日 来日記念交流会



足立クラブさんの車いすバスケットボールの練習に参加  
9月27日

# 決 算 報 告 書

---

(第 4 期)

自 平成26年 4月 1日  
至 平成27年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン



# 貸借対照表

平成27年 3月31日 現在

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	4,832,337	<b>【流動負債】</b>	869,280
現金及び預金	4,832,337	未払金	289,410
		未払法人税等	71,000
		未払消費税等	458,500
		預り金	50,370
		負債の部合計	869,280
		正味財産の部	
		<b>【正味財産】</b>	3,963,057
		剰余金	3,963,057
		その他剰余金	3,963,057
		繰越剰余金	3,963,057
		正味財産の部合計	3,963,057
資産の部合計	4,832,337	負債及び正味財産合計	4,832,337

# 事業会計収支計算書

自 平成26年 4月 1日  
至 平成27年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

科 目	金 額	
<b>【収入】</b>		
寄付金収入	17,835,801	
事業収入	8,071,771	
助成金収入	2,004,063	
売上高合計		27,911,635
<b>【原価】</b>		
当期仕入高	3,624,815	
合計	3,624,815	
原価		3,624,815
売上総利益金額		24,286,820
<b>【事業費及び管理費】</b>		
事業費及び管理費合計		23,235,596
営業利益金額		1,051,224
<b>【その他収入】</b>		
受取利息	799	
営業外収益合計		799
経常利益金額		1,052,023
税引前当期純利益金額		1,052,023
法人税、住民税及び事業税		294,700
当期純利益金額		757,323

## 事業費及び管理費内訳書

自 平成26年 4月 1日  
至 平成27年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

科 目	金 額
給 料 手 当	8,764,999
法 定 福 利 費	1,490,105
福 利 厚 生 費	38,500
荷 造 運 賃	10,932
広 告 宣 伝 費	71,000
接 待 交 際 費	956,439
会 議 費	51,972
旅 費 交 通 費	1,282,385
通 信 費	636,692
消 耗 品 費	312,395
修 繕 費	63,000
水 道 光 熱 費	132,530
新 聞 図 書 費	1,080
諸 会 費	234,000
支 払 手 数 料	70,244
車 両 費	111,047
地 代 家 賃	996,000
賃 借 料	100,000
リ ー ス 料	1,001,955
保 険 料	92,210
租 税 公 課	740,590
寄 付 金	987,500
イ ベ ン ト 経 費	363,140
現 地 活 動 費	4,088,013
雑 費	638,868
事業費及び管理費合計	23,235,596